



門前町ぶらっとアート

商店街とアートがコラボレーション！

3月10日(日)～17日(日)、四日市商店街20カ所で障がい者アートを中心とした作品が鑑賞できる門前町ぶらっとアートが開催されました。イベントに先立ち西本願寺別院で行われた基調講演では、糸口太鼓がオープニングを飾り、イラストレーターで工房「ラ・パロマ」代表の中野伸哉さんは「従来から行っている四日市まちなみ散策に、空き店舗などを活用しアート展を加えることで、まちの魅力が一段とアップします」と話しました。期間中、紙粘土講座や絵手紙講座などのワークショップも行われ、商店街は賑わいをみせていました。



テーブルマナー体験学習

フォークとナイフを上手に使う

3月11日(月)、南院内小学校で地元産の食材を使用したイタリア料理を食べながらテーブルマナーを学ぶ体験学習が行われました。高学年の児童がトマトとモッツアレラチーズのサラダを作り、テーブルにはクロダマルを使った付け合わせやすもう鶏のソテーなども並びました。梯 哲哉シェフから食事の際の姿勢やナイフとフォークの使い方を教わり、児童たちは緊張しながらも食事を楽しんでいました。

JR 柳ヶ浦駅待合室先行リニューアル

温もりのある待合室に

3月7日(木)、8日(金)、来年度予定されているJR 柳ヶ浦駅の駅舎改修工事に先行して、待合室のリニューアルが行われました。

事前に柳ヶ浦高校の生徒が防腐剤を塗布した木材を使用し、市や柳ヶ浦アーバンデザイン会議、観光協会、宇佐商工会議所の有志が柱やカウンター、ベンチを設置しました。たくさんの協力により完成した待合室は温かみのある空間へと生まれ変わりました。





第 29 回 いんない石橋マラソン大会 平成最後を駆け抜けろ！

3 月 17 日(日)、平成の森公園陸上競技場でいんない石橋マラソン大会が開催されました。名古屋国際女子マラソンなどで活躍した藤永佳子^{ふじながよしこ}さんを迎え行われた今回の大会には、全国各地から幅広い年齢層のランナーが参加しました。2 km・3 km・5 km・10 km のコースをランナーそれぞれが掲げる目標タイムに向かって力走り、完走後は足湯で疲れを癒す様子や飲食ブースで宇佐のグルメを楽しむ姿が見られました。



6 次産業化認定農家のパン屋さんオープン 夫婦で二人三脚、念願の夢が叶った瞬間

3 月 20 日(水)、国の 6 次産業化の認定を受けた農家夫婦が営むパン屋さんが清水にオープンしました。農業などの従事者が地元産品を加工・販売する事業について、パン屋が認定を受けたのは県下初で、経営者の黒川博美^{くろかわひろみ}さんは「小麦本来の美味しさがわかるパンを作っていきたい」と話していました。ショーケースには自家栽培小麦を使用したあんぱんのほか、一風変わった青汁パンなど 22 種類が並びました。

「未来ある村 日本農泊連合」結成記念シンポジウム 新しい歴史をつくるのは農村・漁村から

3 月 16 日(土)、17 日(日)、グリーンツーリズムの全国組織結成を記念して、安心院文化会館でシンポジウムが開催されました。農村民泊発祥の地・安心院には県内外から農泊を行う団体や農業関係者らが集まり、各団体の取り組みなどを紹介しました。また、石破元地方創生担当相が「頑張れ未来ある村」と題して特別講演を行い、参加者は都市と農村を結ぶ農泊の意義を改めて感じていました。



ビーチクリーンアップ in わま 白砂青松の和間海岸を守ろう

3 月 17 日(日)、貝掘りシーズンを前に、きれいな海岸でお迎えしようとビーチクリーンアップ in わまが初めて開催されました。

小学生や保護者、和間地区まちづくり協議会など地域のみなさん約 130 人が参加し、海からの冷たい風が吹く中、ペットボトルやビニール製品などのごみを集めました。清掃後、和間小学校の 6 年生は、きれいになった公園内に卒業記念の河津桜を植樹していました。

